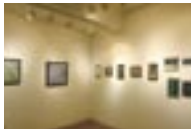


展覧会レポート

Allumage Les jeune 展

K's Gallery 東京・銀座
2007年4月27日(金)～5月9日(水)



東京・銀座の「K's Gallery」は開業6年目を迎えた比較的新しい画廊である。油彩・水彩・版画などの抽象・半具象作品を中心に、日本画技法のコンテンポラリー作品、彫刻、オブジェなどを紹介し、若い作家たちの応援には特に力を入れている。

4月27日～5月9日まで約2週にわたって開催された企画展「Allumage Les jeune」も若手作家の活動を紹介するグループ展である。「Allumage」は「点火」を意味するフランス語で、「les jeune」は若者。K's Galleryでは参加する4人の作家たちの実力、人気に「火がつく」ようにとの願いを込め、このタイトルを付けたと云う。

出展した4人のうち、少々変わった経歴を持つのが早川剛。彼の作品は一部の美術愛好家だけでなく、すでに多くの一般の人たちが眼にしているのだ。2005年に公開された深作健太監督の「同じ月を見ている」(出演：窪塚洋介、黒木メイサ、他)の中に、早川の4作品が登場する。エディソン・チャン演じる水代元が描いた絵として作中でも大きな役割を担ったもので、この映画の助監督から受け取った一通のメールがきっかけだったらしい。その中の一作、一番最初に「炎を

実力と人気に「火がつくように」との 思いが込められた若手日本画家グループ展

龍井 晶子

1998年：愛知県立芸術大学美術学部日本画専攻卒業
2002年：個展「CUBIC FAIRY」(月光荘 銀座) 2003年：VOCA2003(上野の森美術館) 2003年：個展～豊饒の青～(ギャラリー・アート・ポイント 銀座) 他、個展・グループ展多数

安田 薫

1971年：石川県金沢市生まれ 1993年：日展入選(以後1994・95入選) 1994年：金沢美術工芸大学日本画専攻卒業(卒業制作金沢市買上) セントラル美術館日本画大賞展入選 1996年：武蔵野美術学園日本画研究科卒業 他、個展・グループ展多数

早川 剛 (http://www.asahi-net.or.jp/~fr3g-hykw/)

1976年：東京都生まれ 1995年：本郷高校デザイン科卒業 2000年 武蔵野美術学園日本画科 卒業 2001・02・04年：日展入選 など公募展入選多数 2005年：映画「同じ月を見ている」絵画制作、個展(Exhibit Live&Moris) 2006年：個展(K's Gallery)

渡邊 史

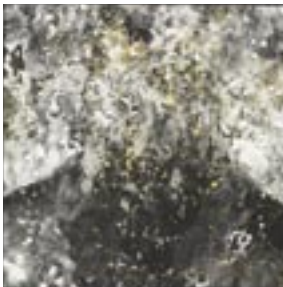
1972年：東京生まれ 2000年：東京芸術大学美術学部デザイン科卒業 2002年：同大学大学院美術科デザイン専攻 描画造形第2研究室終了 終了作品 サロン・ド・プランタン賞受賞 2003年：デザインを含む平面を中心とした作品を制作 個展、グループ展などを中心に活動

モチーフにした絵を描いてほしい」という依頼で制作した「untitled」は、まさに炎をイメージさせる暖色系の色調に、月のような黄色く丸い円が浮かぶ印象的な抽象作品である。映画のオフアワーが来るまで、早川は人物にこだわり、人物画ばかりを描いていた。しかし、その頃から暖色系の岩絵具を多用したり、人物の背景に黄色い大きな円を描いていたようだ。画家自らが「好きな色」だという赤など暖色系を多用する作風は今も変わらず、「Allumage Les jeune」出展作「焼ける空」「湧き上がる大地」にも、その特徴は現れている。

2001年、02年、04年の日展に入選するなど、以前は公募展中心の活動を行っていた早川だが、ここ数年は個展中心にシフトしている。より自由な表現、自由な発表の場を求めた結果だったようだ。日本画というジャンルの中で、自らの心象風景を画面にぶつける早川剛。歩んで行くこととする道は決して平坦ではないが、彼を応援する美術ファンや K's Gallery などの画廊が、彼のこれからの活躍を見守り、支えてくれるはずだ。



早川 剛「焼ける空」
27.3 x 27.3 cm
水彩紙、日本画岩絵具、東膠
2007年



早川 剛「叫ぶ山」
27.3 x 27.3 cm
水彩紙、日本画岩絵具、東膠
2007年



早川 剛「湧き上がる大地」
27.3 x 27.3 cm
水彩紙、日本画岩絵具、東膠
2007年



早川 剛「untitled」
192.0 x 130.0 cm
杉板に日本画岩絵具、樹脂
2005年
※映画「同じ月を見ている」登場作品

※上記3点は Allumage Les jeune 出展作